

「今年の雪速報会 2006 - 07」

主催団体： NPO法人水環境技術研究会、(社)日本雪氷学会北信越支部
(独) 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

趣旨： 昨年一昨年と「今年の雪、速報会」を開催してまいりました。この会は一昨年の第一回において、大雪であったこと、情報は誰しも早く知りたいと言う思い、から開催いたしました。昨年もご存知の平成18年豪雪の後でしたから、かなり盛会でありました。

今年は一転して、2月末まで極端な暖冬小雪でありましたが、3月に入り寒い日が続き、少しは雪も降ったようです。ここに来て、「今年の雪、速報会」は大雪小雪に関わらず、早い時期に過ぎ去った雪を振り返るという意味で開催したいと思います。何しろ二年続きの大雪の後に来た小雪年、これはどういうことであろうか、将来もこういうことはありうるのであろうか、また災害は大雪小雪でどう様変わりするのであるか、ということが大きなテーマになるのではないのでしょうか。

日時： 2007年4月18日(水) 13:30～17:00 (受付開始13:15)

場所： 朝日生命ホール、長岡朝日生命ビル6階

(長岡市東坂之上町1-2-5 Tel. 0258-37-5901)

参加費：(資料代) 500円

プログラム

「気候変動と積雪深」 石坂雅昭 (雪氷防災研究センター)

「記録的少雪と記録的豪雪の積雪深分布の比較」

河島克久 (新潟大学災害復興科学センター)

「十日町における少雪年の積雪」

竹内由香里 (森林総合研究所十日町試験地)

「なぜ起る多雪と少雪」 - H18年豪雪と今冬の違い -

長峰 聡 (気象庁新潟地方気象台)

「大雪と小雪 道路管理の立場から」

野沢 清 (国土交通省長岡国道事務所)

「今年起きなかった雪崩」

松井富栄 (町田建設株式会社)

「今年起きた雪崩、八甲田山と積丹岳、を見る」

上石 勲 (雪氷防災研究センター)

連絡先：

NPO法人 水環境技術研究会 事務局

長岡市草生津3-5-25 Tel. 0258-39-4007 Fax 0258-39-4006

E-mail: eco.science@zc.wakwak.com